

平成30年度事業実績一覧

| 主な取り組み | 課等名 | 事業名 | 事業内容 | 決算額 | 事業実績・成果 |
|--------------------------|------------------------|-------------------------|---|------------|--|
| 庁内体制の充実 | 企画政策課 | 多文化共生意識啓発講座 | 市職員を対象に多文化共生意識啓発のため研修会を実施する。 | 30,000円 | 市職員の多文化共生社会づくりに関する意識啓発を図るため、横浜市国際交流協会事務局担当次長の木村氏より職員向けにご講義頂いた。 開催日：平成31年1月18日 参加職員数：31名 |
| 市民団体や関係機関などとの連携及び協力体制の整備 | シティプロモーション課 市国際交流協会 | 東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進 | 事前キャンプ地の誘致を進める中で、行政と市民団体などが連携し、国外のチームとの交流会や事業の実施をする。 | 77,000円 | カナダ代表チーム強化合宿：6月14日(木)～6月27日(水)の14日間実施 市国際交流協会には、チーム来日後に行った歓迎セレブレーション時の司会通訳をお願いするとともに、強化合宿の期間中、通訳スタッフとして協力していただいた。 順天堂大学国際教養学部学生ボランティアには、17日(日)に、中学生対象のソフトボール教室を実施する中で、通訳サポートを行っていただいた。 ※通訳スタッフとして参加した市職員：11人(延べ35人) 市国際交流協会：11人(延べ15人) 順天堂大学学生ボランティア：9人 |
| | 企画政策課 | 印西市国際交流協会事業支援 | 市の国際化推進に係る施策の一翼を担う市国際交流協会の事業を支援するため、補助金を交付する。 | 500,000円 | 事業支援として補助金を交付することにより、協会事業が円滑に実施され、市の施策を推進することができた。 |
| | 企画政策課 県国際交流センター | 通訳ボランティア養成講座 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、外国人旅行者を支援する通訳ボランティアを養成するため、千葉の特性と魅力等についての講座を開催。 ※市の共催事業 | — | 通訳としての心構え・マナー、異文化コミュニケーション、千葉の特性と魅力などに関する講義などを行う通訳ボランティアの養成講座を実施し、国際化の推進に努めた。 日時：10月17日(水)、24日(水)、31日(水) 会場：中央公民館 応募者数：78名(うち印西市民 32名) 受講者数：38名(うち印西市民 21名) |
| | 企画政策課 県 県民生活・文化課 | 外国人おもてなし語学ボランティア育成講座 | 2021年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、簡易な外国語を用いて道案内等の手助けを行うことができる人材の育成を行う。 ※市の共催事業 | — | 初級の語学力(英語)の方を対象に、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や、中学校で学習する程度の語彙・表現を用いて簡単なやり取りができる程度の会話力を身に付ける講座を実施し、国際化の推進に努めた。 日時：12月1日(土)、8日(土)、15日(土) 会場：中央駅前地域交流館 応募者数：134名(うち印西市民 47名) 受講者数：44名(うち印西市民 18名) |
| 行政サービスの充実 | 秘書広報課 | 印西市公式ホームページ運用管理委託 | 速報性に優れたインターネットの特性を活かし、市政に関するさまざまな情報を迅速かつ確実にホームページを活用して提供する。 ※契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 | 2,822,688円 | ホームページの翻訳機能(英語、中国語(中文簡体・中文繁体)、韓国語)を活用した市政情報の提供を行った。また、翻訳の質の向上を図るため、職員研修を通じ、ホームページ作成の際に、必ず逆翻訳を行い翻訳精度向上に努めるよう周知した。 |
| | 秘書広報課 | 市勢要覧の制作 | 市の現状や市内の自然、歴史等の情報を総合的に取り上げ、市の魅力を紹介する冊子を制作する(英語併記)。 | 2,904,984円 | 英語を併記した冊子を転入者等へ配布することで、市の総合的な情報についてPRすることができた。 発行部数 10,000部 |
| | 企画政策課 | 広報いんざい1日号(抜粋)英語版作成 | 外国人市民への情報提供を充実させるため、広報紙の抜粋を英訳し、市役所や公民館等への設置や、市ホームページに掲載する。 | 96,000円 | 外国人市民への行政情報提供の充実として、毎月1回、INZAI NEWS LETTER(広報いんざい1日号(抜粋)英語版)を発行した。 設置場所：市役所ロビー、市民課、支所、出張所、公民館、図書館、コミュニティセンター、市ホームページ |
| | | 広報いんざい15日号「外国人のみなさんへ」掲載 | 外国人市民への情報提供として、広報いんざい15日号に「外国人のみなさんへ」を掲載する。(翻訳代) | 24,000円 | 広報いんざい15日号「外国人のみなさんへ」のコーナーで、日本語(ルビ付き)、翻訳文を掲載し、外国人市民へ情報提供した。 |

平成30年度事業実績一覧

| 主な取り組み | 課等名 | 事業名 | 事業内容 | 決算額 | 事業実績・成果 |
|-----------|--------------------|---------------|--|------------|--|
| 行政サービスの充実 | 企画政策課 | 外国人のための無料相談 | 外国人市民の生活支援として、外国人市民を対象に法律や生活に関する相談に対応する。 ※市国際交流協会との共催事業 | — | 市国際交流協会所属の行政書士を相談員とし、毎月第2金曜日の午前9時から午後4時の間に、市役所内で実施した(予約制)。 実施件数:3件 |
| | | 印西市国際化推進懇談会 | 市の国際化推進について、国際交流関係者、学識経験者、公募市民、外国人市民を委員とした会議を設置し意見交換する。 | 90,000円 | 平成29年度事業実績を報告及び平成30年度実施事業の途中経過について報告したほか、市の国際化推進事業について、ご意見をいただいた。 会議開催数:2回 |
| | 経済政策課 (現:商工観光課) | 観光振興事業 | 「まっぶる印西市」英語版作成 | 1,296,000円 | 平成28年度に刊行した「まっぶる印西市」の改訂増刷版を作成すると同時に、その掲載情報を一部翻訳した英訳版を刊行する。発行部数は5,000部。 |
| | クリーン推進課 | ごみの減量化・再資源化事業 | 家庭ごみのごみ出しルールをまとめた「資源物とごみの分け方・出し方」のやさしい日本語版を作成し、外国語版(英語・中国語・韓国語:平成27年度作成)と併せて引き続き配布する。 | 97,200 | 家庭ごみのごみ出しルールをまとめた「資源物とごみの分け方・出し方」のやさしい日本語版を作成し、外国語版(英語・中国語・韓国語:平成27年度作成)と併せて配布した。 |
| | 健康増進課 | 外国語版母子健康手帳の発行 | 言語の差異なく母子保健に関する知識普及を図り、必要な保健サービスが受けられるようにするため、日本語が分からない家庭の妊娠届出の際に、母子健康手帳を外国語版(英語・中国語・韓国語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・スペイン語・ベトナム語)で発行する。 | 10,713円 | 外国語版母子健康手帳 交付実績 英語:8冊、中国語:4冊、ベトナム語:2冊、タイ語1冊 |
| 地域への参加の促進 | 防災課 | 防災訓練 | 地域住民の災害に対する防災意識の高揚と防災力の育成、関係機関との連携強化等、有事に備えた各種訓練を実施する。 また、国際交流ブースを設置し、外国人市民の積極的な訓練参加を推進する。 | 641,440 | 印西市国際交流協会により展示ブースを設置し、総合防災ブック(英語・中国語・韓国語)の配布により普及啓発を行った。 ブースは設置したが、避難者の中に外国人の方がほとんど見受けられなかった。 |
| | 市国際交流協会 企画政策課 | 外国人市民との交流事業 | 外国人市民を対象にイベントを実施し、外国人同士の交流や日本人との交流を促進する。 ※一部、企画政策課との共催事業 | — | 印西市国際交流協会が行うイベントを通して、外国人との交流を図った。 外国人市民と気軽に話すフレンドシップカフェ、外国料理教室(インド)、ワールドフェスト、外国人のための弓道教室、社会見学バスツアー(房総のむら)等 |
| | 市国際交流協会 | 日本語教室 | 外国人市民を対象に日本語習得を支援するとともに、他の外国人や日本人との交流機会を提供する。 | — | 市内4箇所で5クラスを運営することにより、外国人市民の日本語学習機会を充実させることができた。 ・火曜日クラス(ふれあいセンターいんば):6人 ・水曜日クラス(中央駅前地域交流館):31人 ・木曜日クラス(中央公民館):7人 ・土曜日クラス(そうふけ公民館):6人 ・日曜日クラス(小林公民館):12人 |

平成30年度事業実績一覧

| 主な取り組み | 課等名 | 事業名 | 事業内容 | 決算額 | 事業実績・成果 |
|-----------------------|--|-------------------|--|-------------|--|
| 幼少期から青少年期までの国際理解教育の充実 | 企画政策課 | 幼稚園・小中学校異文化理解推進事業 | 市立幼稚園及び小中学校に外国人講師を派遣し、母国紹介を通して異文化交流をする。 | 25,000円 | 外国人講師の母国紹介を通して、異文化や多文化共生への理解を深めた。学校名及び参加者数：滝野小：70人、小倉台小：149人 計219人 |
| | 保育園 | ハローフレンズ | 市立保育園児が外国人講師とその講師の母国語を使って触れ合うことにより、他の国の言語や文化に親しむ。 | 59,500円 | 【木刈保育園】 4回 68人(1回につき17人) 【内野保育園】 4回 64人(1回につき16人) 【高花保育園】 4回 96人(1回につき24人) 【もとの保育園】 1回 20人 【西の原保育園】 4回 96人(1回につき24人) |
| | 指導課 | 中学生海外派遣研修 | 市内在住の中学生を海外に派遣する。 | 8,017,720円 | 市内在住の中学生20名をオーストラリア(メルボルン近郊)に派遣し、ホームステイや現地校で交流した。また、文化遺産をめぐり異文化理解を図るとともに、現地校での英語研修を行い実践的な英語コミュニケーション能力の向上を図った。引率は3名(学務課長、指導課教育センター指導主事、中学校教諭)であった。 |
| | | 国際理解教育推進事業 | 外国語活動等英語教育において実践的コミュニケーション能力を育成するため、英語を話す外国語指導助手を市立小中学校に配置する。また、年間10日程度、市立幼稚園にも派遣する。 | 52,509,600円 | 外国語指導助手11名を配置し、小学校・中学校における英語教育の充実及び実践的コミュニケーション能力の育成を図った。また幼稚園に年10日程度配置し、異文化を体験するとともに、英語への興味・関心を高めた。 |
| | | 小学校英語教育 | 外国語・外国語活動における学習の充実及び研究を推進するため、小学校を研究指定する。指定校には日本人の英語教育コーディネーターを配置する。 | 4,888,550円 | 外国語活動研究指定小学校10校に5名の英語教育コーディネーターを配置し、外国語・外国語活動における学習の充実及び英語教科化に向けた研究を推進した。 |
| イングリッシュ・トレセン | 夏季休業中に小学3・4年生及び5・6年生を対象に英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験し、英語運用能力の育成を図る。 | 11,130円 | 7月の夏季休業中に、小学3・4年生を対象に牧の原小学校にて、5・6年生を対象に平岡自然の家にてそれぞれ1日ずつ実施した。派遣会社インタラクからALTを派遣してもらい、英語で行う活動を通してコミュニケーション能力の向上を図った。印西市国際交流協会のボランティアの協力を得た。 | | |
| 地域における多文化共生意識の啓発 | 企画政策課 | 異文化理解講座 | 市民への異文化理解を推進するため、外国人市民などを講師に、母国紹介を通して異文化交流をする。 | 42,000円 | 市内の公共施設を使用し、千葉県国際交流センターに依頼した講師の出身国の紹介を行った。 開催数：年6回、7月から11月の間で実施 参加者数：150人 |
| | 市国際交流協会 | 語学(英語・中国語・韓国語)講座 | 階級別けたクラスで、各語学の習得の場として実施。 | — | 市内2箇所7クラスを運営。 英語 ・火曜日(初級)クラス(中央公民館) ・水曜日(中級)クラス(中央駅前地域交流館) ・金曜日(初級)クラス(中央公民館) ・金曜日(中級)クラス(中央公民館) 中国語 ・金曜日(初中級)クラス(中央駅前地域交流館) 韓国語 ・木曜日(初級A)クラス(中央公民館) ・木曜日(初級B)クラス(中央公民館) |